



令和6年11月1日発行

きみつ 市議会 だより



第3回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより
編集委員会

CONTENTS

- 2 第3回定例会のあらまし
- 4 議案の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(12議員が質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 決算審査特別委員会の概要



撮影：千葉県立君津高等学校 写真部

(影山 小幸さん、朝倉 夢翔さん、津川 北斗さん、川名 乙寧さん)



君津市
マスコットキャラクター
きみびよん

君津市議会では、議会の活性化だけでなく、「開かれた議会」の実現に向けて取り組んでいます。市民の皆さんに議会を身近に感じてもらうために、さらにわかりやすく、より親しまれるよう紙面の作成に努めています。

今回の表紙写真は、千葉県立君津高等学校写真部に提供いただいたものです。
※写真の撮影場所は、君津市大井地先の「はちみつとミードのはちみつ工房」で、本市は6次産業化ネットワーク活動交付金で開設を支援しました。

この秋、3周年を迎え、多くの観光客で賑わっています。

第3回定例会のあらまし

一般会計補正予算、令和5年度各会計歳入歳出決算の認定など

議案 22 件、請願 1 件、陳情 1 件を議決

第3回定例会は、9月3日から9月27日までの25日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和6年度君津市一般会計補正予算（第5号）や令和5年度各会計歳入歳出決算の認定など、市長提出の21議案、議員提出の1議案、請願1件、陳情1件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件については趣旨採択とし、そのほかは原案のとおり可決・同意・採択されました。

一般質問では12人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第3回定例会（9月）

9/3(火)	本会議（招集日） 諸般の報告・会期の決定 議案等の上程など
6(金) 9(月)	本会議 一般質問
10(火)	本会議 一般質問、追加議案の上程、決算審査特別委員会の設置、委員会付託など
11(水)	総務常任委員会
12(木)	建設経済常任委員会
13(金)	教育福祉常任委員会
18(水)	
19(木)	決算審査特別委員会
20(金)	
27(金)	本会議（最終日） 委員長報告、質疑、討論、採決など

反対

本会議における主な討論

賛成

マイナンバーカードの保険証利用について、健康保険証の存続等を求める意見書が全国の自治体から提出されていること。また、任意取得であるにも関わらず、マイナンバーカードの取得を事実上強制するような移行が前提となっていることから、賛成できない。

広域化した事業の料金や使用料が値上げされ、市民負担が増加しており、事業の広域化は自治体固有の責任を放棄することとなり、市民に対し君津市の責任が果たせなくなることから、賛成できない。

インターチェンジ周辺の土地利用構想については、君津市全域を視野に入れて検討されるべきものであり、広大な田園地域の大規模開発は、食料自給率の低下、脱炭素社会に逆行するものであることから、賛成できない。

議案第13号

令和6年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

君津市のマイナンバーカードの交付率は、80%を超えており、これを保険証として活用することは、デジタル化による住民サービスの向上に寄与するものと理解し、持っていない方には「資格確認書」を発行することで、適切な対応が図られるものと理解する。

認定第1号

令和5年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

国の補助金などを活用し、市民の暮らしを守る施策を迅速に実施したことは評価でき、空き公共施設の売却や利活用を進め、公共施設の適正な管理に向けた努力がなされているものと理解する。また、水道事業やまきみさらず聖苑などの広域連携事業は、持続可能な行財政運営を行う上で必要なものであると考える。

請願第1号

君津インターチェンジ周辺まちづくり事業の実現を求める請願

君津インターチェンジ周辺は高速道路ネットワークにつながる本市の玄関口ともいえる場所であり、当地域の特性を生かした土地の利活用は本市の活性化に寄与するものであると考え、事業の一層の推進を期待する。

令和
6年度

一般会計補正予算

主な事業を紹介します

今定例会では、君津市一般会計補正予算（第5号）に係る議案の審議を行いました。

主な事業は以下のとおりです。

議案第12号 補正予算（第5号）

郡ダム湖面活用推進事業

550万円

企業版ふるさと納税を活用し、水上スキー実証実験のための環境整備を行います。



孤立集落対策緊急支援道路事業

100万円

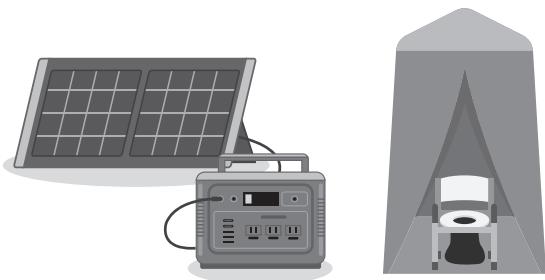
県補助金を活用し、災害時に孤立する可能性がある集落の道路に待受け擁壁を設置します。



孤立集落対策緊急支援事業

3,650万4千円

県補助金を活用し、災害時に孤立する可能性がある集落へ資機材等を購入します。



消防団施設整備事業

702万9千円

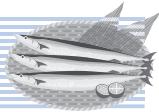
旧第10分団機庫の解体工事を実施します。



人事案件に同意

◆人権擁護委員

安藤 吉克（君津市俵田）



出席議員全員が賛成した議案、陳情（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
議案第4号	君津市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	君津市中小企業資金融資及び利子補給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	大和田・坂田小学校統合施設整備電気設備工事請負変更契約の締結について
議案第8号	市道路線の認定について
議案第9号	市道路線の認定について

議案番号	件名
議案第10号	市道路線の認定について
議案第11号	損害賠償の額の決定及び和解についての専決処分の承認を求めるについて
議案第12号	令和6年度君津市一般会計補正予算(第5号)
議案第14号	令和6年度君津市介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第15号	財産の取得の追認について
議案第16号	財産の取得の追認について
認定第3号	令和5年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第5号	政府に「再審法改正」の意見書提出を求める陳情書 ※

※陳情第5号は趣旨採択について諮りました。

賛否の分かれた議案、請願

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	君津市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決
議案第3号	君津市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○可決
議案第6号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	○可決
議案第13号	令和6年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○可決
認定第1号	令和5年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○認定
認定第2号	令和5年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定
認定第4号	令和5年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定
認定第5号	令和5年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定

議員	令和新政		創政会		きみつ未来		公明党		諸派											
	小倉 靖幸	小倉 広紀	大和 ヒロシ	天笠 等	鶴岡 一成	奈良 輪政	三浦 章	大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高大	下田 好一	保坂 明	高橋 喜久男	小林 琢也	石上 墨	松本 裕次郎	佐藤 健治	野上 葉子	三浦 道雄	林 祥子
議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

◆議員提出議案

発議案第6号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について	○可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
--------	--------------------------	-----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

◆請願

請願第1号	君津インターチェンジ周辺まちづくり事業の実現を求める請願	○採択	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
-------	------------------------------	-----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対



一般質問

市政を問う！ Q & A

第3回定例会において、12人の議員が質問を行いました。
各議員の質問の大綱については下記のとおりです。(通告順)
マークの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

鶴岡 一成 議員

令和新政

P.6

- ・安全・安心なまちづくりについて
- ・未来を担う子どものために
- ・行政運営について
- ・観光地としての上総地域について

四宮 安彦 議員

創政会

P.6

- ・魅力的な君津市の市政運営について
- ・JR久留里線と沿線地域活性化について

満武 琢也 議員

きみつ未来

P.6

- ・災害対策について
- ・市民の命を守る対策について
- ・子育て子育ち支援について
- ・快適に暮らせるまちづくりについて
- ・持続可能なまちの実現について

大和 ヒロシ 議員

令和新政

P.7

- ・経済と環境が調和したまちについて
- ・ともに創る次世代につながるまちについて
- ・快適で安心して暮らせるまちについて

小倉 広紀 議員

令和新政

P.7

- ・ひとが輝き幸せつなぐきみについて
- ・安心して暮らせるまちについて
- ・将来を見据えた行財政基盤の確立・推進について
- ・市職員の働き方改革について
- ・より良い学校環境の整備について

下田 剣吾 議員

創政会

P.7

- ・市長公約について
- ・本市活性化のために
- ・子育て支援について
- ・新型コロナ対策の現状について
- ・消防団と家族を支援するために

大滝 浩介 議員

創政会

P.8

- ・安心して暮らせるまち
- ・自慢したくなるまち
- ・スポーツで「むすぶ」まち
- ・日本一子育てが楽しいと思えるまち
- ・いきいきとすこやかに暮らせるまち

鈴木 高大 議員

創政会

P.8

- ・持続可能なまちづくりについて
- ・教育環境について
- ・にぎわいが持続可能なまちについて
- ・市内の土地利用について
- ・災害対策について
- ・鳥獣害対策について

高橋 健治 議員

公明党

P.8

- ・災害対策について
- ・市民の命を守る救急業務について
- ・市民に寄り添う市役所について
- ・定員管理適正化計画について
- ・公共交通について

野上 慎治 議員

公明党

P.9

- ・平和宣言都市としての取組について
- ・学校教育の充実について
- ・スポーツ振興について
- ・緊急時の支援について

三浦 道雄 議員

諸派・日本共産党

P.9

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・環境行政について

林 祥子 議員

諸派・希望にみらい

P.9

- ・市内の産業廃棄物処分場について
- ・安心安全な食の取組について
- ・健康被害が起きているワクチン接種について
- ・温室効果ガス排出削減施策について
- ・市役所の窓口業務について



令和新政
鶴岡

一成 議員



創政会
四宮 安彦



きみつ未来
満武 琢也

広域廃棄物処理事業

Q 市内の「ゴミ」を中間処理した後、秋田県と山形県にて最終処分をしているが、いつから搬入しているのか。また、その経緯を伺う。

A 平成24年8月から山形県へ、平成25年11月から秋田県へ搬入している。平成23年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故に伴い、放射性物質汚染対策特別措置法が制定された事が要因である。

久留里地域での新酒まつり

Q 毎年3月に行われている新酒まつりだが、久留里が持つ城下町としての特色などに鑑みて、もっと多くの来客があつてもよいと感じる。今年の来場者数と市はどのように協力を行つていいのか伺う。

A 来場者は約1千500名である。実行委員会

の皆様と共に企画段階から連携を密にし、運営にあたるとともに、市長が報道関係者に市政の取組を発表する定例記者会見において、イベント誘客を促すなど積極的な周知を図っている。

森林環境譲与税

Q 間伐する場所の優先順位はどのように決められたのか。

A 事前伐採は市道13路線を対象としており、電気事業者と協議の上で決定している。

久留里の名水

Q 平成の名水百選として認定されているのは、県内では久留里の名水のみである。本市の名水を保持するためには、もっと積極的に取り組んでいく必要があり、名水があるがゆえの本市独自の検査体制を整えていく必要があると考えるが、見解を伺う。また、水の出口付近の管理体制について、どのように考えているのか伺う。

A 久留里地区の井戸水を安全・安心に利用できるよう、引き続き定期的な水質検査を実施するとともに、所有者等に対し、井戸やその周辺について衛生的に維持管理を行うよう啓発などに努め、久留里の名水を本市の貴重な財産として、後世へ引き継げるよう取り組んでいく。

JR東日本の株式取得

Q 株式取得については、リスクが生じるため難しいとの回答であつたが、リスクの検討にあたり、いくつかの要素があると考えるが、その要素について伺う。

A 公金を取り扱う上で安全性を最優先に考える必要があり、株価の変動そのものがリスクと捉え、市としては株式を取得することは考えていません。

総合防災訓練

Q 防災訓練などを通じて、今後どのように防災力の向上につなげるのか、見解を伺う。

A 災害時を想定した訓練を定期的に実施することにより、関係機関との連絡、応援要請体制を構築し、迅速な初期対応を期すとともに、市民一人ひとりが災害対策を自分事として捉え、非常時にも落ち着いて行動できる力を身につけることが必要であると考える。今年度は清和地域拠点複合施設において、地域の幅広い世代の方々にも参加いただきながら、新たに孤立集落対策の視点を取り入れた総合防災訓練を実施し、防災力、減災力のさらなる向上を図っていく。

持続可能なまちの実現

Q 空き公共施設の利活用は、市政最大の課題と言えることから、増員しても集中的な対応、対策を急ぐべきと考えるが、見解を伺う。

A 昨年9月の任期付職員の採用に加え、人事異動に際して、資産活用業務と親和性の高い業務経験がある職員を配置するなど、対応をしている。引き続き、迅速に空き公共施設の利活用が進められるよう取り組んでいく。



令和新政
やまと
大和 ヒロシ 議員

一斉捕獲の効果が知りたい！

Q 令和6年度において既に3回実施されている一斉捕獲の効果について伺う。

A 捕獲実績はサルが2頭、カラス11羽である。また、追い払うことにより、農地や集落に近くすることが危険であると有害鳥獣に学習させる狙いもある。



令和新政
おぐら
小倉 広紀 議員

ひとが輝き幸せつなぐきみつ

市長公約「乗合交通網整備」実現急げ

Q 本市は日本赤十字社千葉県支部君津市地区に位置づけられ、市長を地区長とし各種赤十字事業を推進しているが、市と君津市赤十字奉仕団はどのような連携を図つて活動しているのか伺う。

A 奉仕団では、救急方法や防災についての講習会など、多岐にわたる活動を行つており、市も運営協力を行つてている。今後も連携・協力し「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち きみつ」の実現に向けた施策を推進する。

将来を見据えた行財政基盤の確立・推進

Q 事務事業総点検実行会議を設置し、事業の見直しに取り組んだとのことだが、今後のさらなる取組は、どのように検討しているのか伺う。

A 廃止判定が10事業、リニューアル判定が1事業となつた。引き続き、事務事業の見直しに取り組むなど、将来を見据えた、より効率的で強固な行財政基盤の確立に取り組んでいく。

より良い学校環境の整備

Q 安全対策として実施を予定していた下小糸川河川改修事業の現状と今後の対応を伺う。

A 平成24年度、平成29年度にのり面の護岸工事を実施し、平成25年度は被災箇所の復旧工事を実施した。現在は自然護岸が安定し、河川氾濫の危険性は低いと思われるが、被災予防のための対策を行うなど、河川の維持管理に努めていく。

農業活性化のための基盤整備が必要

Q 狹いほ場や水漏れする古い農業用水に意欲ある農業者が苦労している。直近の整備を伺う。

A 直近のほ場整備は小糸川流域が平成8年の小山野、小櫃川流域が平成17年の加名盛である。農業施設は三島ダムの基幹用水路改修を実施中で、令和2年に向郷で揚水機場改修を実施した。各種補助事業を活用し、農業者の支援を行つてていく。



創政会
しもだ
下田 剣吾 議員

ホテルやデータセンター誘致で活性化を

Q インター周辺開発の布石として、まずホテル等の企業を誘致すべきと考えるが見解を伺う。

A 本市への企業立地がさらに促進されるよう企業立地奨励制度の調査研究をしていく。

Q 近くの発電所やメガソーラーで電力量もあるため流山や印西でまちの活力となつているデータセンターを誘致すべきと考えるが見解を伺う。

A データセンターをはじめとする、様々な企業誘致の推進がかなうよう情報収集等に努める。

Q 以前伺った、体育館天井への大型ファンの設置について、調査検討は行ったのか。また、導入・運用コストについて、併せて伺う。

A 県内で導入実績がある勝浦市で現地確認を実施し、工アコン設置に比べ、導入・運用経費が安価であるため、費用対効果は高いものと認識している。

支線1号



創政会
大滝 こうすけ
浩介 議員

持続可能なまちづくり



創政会
鈴木 すずき
高大 議員

防災備蓄倉庫



公明党
高橋 たかはし
健治 議員

Q 北子安と陽光台を結ぶ支線1号は、平成21年度に予算化され地権者へ説明を行っているが、整備には至っていない。自治会から要望書も提出されているが、現状と今後について伺う。

A 平成30年度までは用地取得が完了したもの、予算配分や発生する残土処理等から整備に至っていない。今後は、周辺道路の利用状況などを調査し、整備の緊急性について精査していく。

指定避難所

Q 貞元地区には第1避難所がないことから、地域に近い場所で第1避難所の設置を望むが、見解を伺う。また、みふねの里保育園は、避難所の役割を担うことが可能か伺う。

A 避難所は、災害の種類や規模等を総合的に判断し、段階的に開設しており、施設の収容人

数等を考慮して指定している。みふねの里保育園は、災害発生後の復旧活動にあたる保護者を支援する応急保育を実施するため、避難所として指定していない。

Q 台風7号接近に伴い、貞元地区の方が指定避難所を利用した人数について伺う。また、他市では地域で自主的に開設する「地域避難施設認定制度」を実施しているが、見解を伺う。

A 貞元地区の避難者は4世帯4名であった。また、地域避難施設認定制度については、避難所の確保として有効な制度の一つと考える。

Q まちのにぎわいを取り戻すために宿泊施設、集会施設の需要面や立地などを踏まえ、民間事業者を誘致すべきと考えるが、見解を伺う。

A 近年、君津駅周辺では老舗ホテルや遊戯施設など、いくつかの大型施設が撤退している。君津駅周辺のまちづくりについての検討を進めながら、駅周辺の活性化に取り組んでいく。

にぎわいが持続可能なまちづくり

Q コンビニなどの店舗での飲食やトイレの利用は、出動件数の増加で深刻化する隊員の負担を軽減するために必要な措置と考えるが、状況について伺う。

A 令和5年中の救急出動件数は5千524件で過去最多となつた。水分補給などのため必要に応じて救急車でコンビニ等を利用している。

Q 災害時に孤立する可能性のある集落を把握するための調査を実施したが、どのような対策を行っているのか伺う。

A 本市では、県が調査対象とした97集落のうち72か所で孤立の可能性があるという結果になった。今後、千葉県孤立集落対策緊急支援補助金を活用して集落における避難環境を強化するための資機材等の整備を進め、市民の生命、財産を守るために、全力で災害対策に取り組んでいく。

救急出動

Q 本市の人口の推移と転出抑制や市外からの移住者を確保するための取組について伺う。

A 本市の人口は平成7年をピークに減少している。昨年、社会増減についてはプラスに転じたものの、自然増減はマイナスの傾向が続いている。労働力人口の減少、経済活動の縮小、地域コミュニティの衰退など地域社会や経済に多大な影響がある。国の少子化対策の動向を踏まえ、子育て、教育、住まいを重点施策として未来を見据えた投資を行い、人口減少の抑制に取り組む。

Q 周西の丘小学校新校舎整備事業の進ちょく状況を伺う。

A 令和7年9月の開校に向けて予定どおり工事を進めている。

Q 災害時に孤立する可能性のある集落を把握するための調査を実施したが、どのような対策を行っているのか伺う。

A 本市では、県が調査対象とした97集落のうち72か所で孤立の可能性があるという結果になった。今後、千葉県孤立集落対策緊急支援補助金を活用して集落における避難環境を強化するための資機材等の整備を進め、市民の生命、財産を守るために、全力で災害対策に取り組んでいく。

Q 災備蓄倉庫の現状と今後の運用について伺う。

A 現状では、指定避難所の全てに防災備蓄倉庫の設置が完了していない。計画的に防災備蓄倉庫の設置を行い、物資の選定にあたっては、優先順位の高いものから順次備蓄を進め、防災備蓄倉庫及び備蓄物資の適正な維持管理に努めしていく。

Q 周西の丘小学校新校舎整備の進ちょく状況を伺う。

A 令和7年9月の開校に向けて予定どおり工事を進めている。

Q 災害時に孤立する可能性のある集落を把握するための調査を実施したが、どのような対策を行っているのか伺う。

A 本市では、県が調査対象とした97集落のうち72か所で孤立の可能性があるという結果になった。今後、千葉県孤立集落対策緊急支援補助金を活用して集落における避難環境を強化するための資機材等の整備を進め、市民の生命、財産を守るために、全力で災害対策に取り組んでいく。

Q 災害時に孤立する可能性のある集落を把握するための調査を実施したが、どのような対策を行っているのか伺う。

A 本市では、県が調査対象とした97集落のうち72か所で孤立の可能性があるという結果になった。今後、千葉県孤立集落対策緊急支援補助金を活用して集落における避難環境を強化するための資機材等の整備を進め、市民の生命、財産を守るために、全力で災害対策に取り組んでいく。

Q まちのにぎわいを取り戻すために宿泊施設、集会施設の需要面や立地などを踏まえ、民間事業者を誘致すべきと考えるが、見解を伺う。

A 近年、君津駅周辺では老舗ホテルや遊戯施設など、いくつかの大型施設が撤退している。君津駅周辺のまちづくりについての検討を進めながら、駅周辺の活性化に取り組んでいく。

Q コンビニなどの店舗での飲食やトイレの利用は、出動件数の増加で深刻化する隊員の負担を軽減するために必要な措置と考えるが、状況について伺う。

A 令和5年中の救急出動件数は5千524件で過去最多となつた。水分補給などのため必要に応じて救急車でコンビニ等を利用している。



公明党
野上 慎治 議員

平和を求める意識の醸成を！

Q 会派公明党で市原市の平和への取組を視察し
たところ、戦争のパネル展は、郵送費のみで
実施できる。本市においても実施してはいかがか。
A 戦後80年の節目を控え、本市においても平和
意識を高める事業の実施を検討していく。

スポーツ環境の充実を！

Q 市民体育館にはエアコンが設置されておら
ず、市民の皆様は大変に難儀されている。早
期の設置を望むが、今後の見通しを伺う。また、
メディアカルスポーツセンターのテニスコートのナ
イター設備は、漏電のため使用できない。早期の
改修工事が必要と考えるが、見解を伺う。
A 体育室ではスポーツクーラーを貸出しており、
今後は内みのわ運動公園リニューアル事業で
民間活力を導入した整備を検討していく。テニス
コートの夜間照明については、利用率やLED化
による電気代削減効果等を勘案し検討していく。

緊急時のエアコン購入支援が必要！

Q 近年の暑さの中でエアコンの故障は、命に危
険が及ぶ可能性がある。生活困窮世帯では急
な支出が困難であることから、エアコンの故障に
特化した貸付制度が必要と考えるが、見解を伺う。
A 気温が高い状況が続いていることから、現行
制度におけるエアコン購入等の申請に対し、
できるだけ早く対応できるよう努めていく。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

市長の政治姿勢

Q 第4回JR久留里線沿線地域交通検討会議で
議論を経た現在、本市の立ち位置を伺う。
A 様々な交通手段の可能性について意見交換を行った。これらの意見を考慮した上で検討していく必要があると改めて認識し、地域住民にとってより良い公共交通がいかなるものなのか、引き続き丁寧に議論を進めていく。

医療・福祉行政について

Q 健康保険証の廃止に対する市の対応を伺う。
A 本年8月に発行した健康保険証は、令和7年
7月末まで使用可能である。その後は、現在
の健康保険証に代わる「資格確認書」を当面の間、
申請することなく自動で交付することで、これまで
同様に保険診療を受けることができるところから
ご安心いただきたい。

新井総合施設株式会社の動向

Q 10トンダンプカーより総重量が重い特殊車両
が走行するため、騒音や道路への影響等が懸
念されるが、市の対応を伺う。

A 1日あたりの最大搬入台数は、蔵玉方面及
び川谷方面から、それぞれ片道50台、往復
100台となっている。廃棄物を搬入するダンプ
カーの中には、総重量が20トンを超える特殊車両
も走行していることなどから、周辺地域の生活環
境に影響を及ぼすことのないよう、県と緊密に連
携を図り、監視を継続していく。



諸派・希望にみらい
林 祥子 議員

新井総合施設株式会社との環境協定

Q 地域住民が心配している場所の状況は、法に
基づく権限がなく調べられないとのことだ
が、環境協定を結んでいれば対応できるのではな
いかと考えるが、見解を伺う。
A 市及び市議会は、第1期処分場から一貫して
反対の姿勢であり、環境協定は締結していない。
今後も県と連携し、それぞれが所管する法令
等に基づき、しっかりと監視していく。

市のオーガニックビレッジ宣言

Q 有機農業に取り組む自治体であるオーガニック
クビレッジが増えており、既に124市町村
が取り組んでいる。本市は実施に向けて取り組む
考えがあるのか伺う。
A 持続可能な農業の普及に取り組んでいるが、
有機農業については、栽培に係る技術や販路
の開拓など様々な課題もあることから、オーガ
ニッククビレッジ宣言を行なうことは難しいと考え
いる。

子宮頸がんワクチンHPVワクチンの健康被害

Q 全国でHPVワクチンを接種した女性が重篤
な症状に長年苦しんでおり裁判にもなっている
。ワクチン接種の実施にあたっては、健康被害
が発生していること等の周知を行なべきと考え
るが、見解を伺う。
A HPVワクチンに限らず、ワクチンの副反応
等を正しく理解いただいた上で接種されるよ
う引き続き必要な情報の周知に努めていく。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。
審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(4ページ)を参照してください。

総務常任委員会



下田剣吾委員長

審査案件（議案第3号、議案第6号、議案第12号、議案第13号、陳情第5号）
議案第3号

国民健康保険条例の改正

（内容）

健康保険証が廃止されることに伴い、規定を整理するため、条例の一部を改正するもの。

（問） 健康保険証の有効期限について伺う。

（答） 今年度に発行された保険証は、令和7年7月31日まで使用可能であり、マイナ保険証を保有していない方には、当面の間、本人からの申請によらず、資格確認書を交付するものである。

（意見） 健康保険証の廃止に伴う不安や混乱が生じないよう、制度変更の周知に努めることを望む。
(賛成多数で可決すべきものと決定)

議案第12号（補正予算）

消防団施設整備事業

（問） 旧第10分団機庫の解体費用の上昇理由について伺う。

（答） 令和4年度に算出された設計額に比べて金額が上昇した理由は、最新の材料及び労務単価や小規模施工に配慮した単価の適用、4週8休の勤務制度の導入に対応した単価の適用及び工期の設定等によるものである。

孤立集落対策緊急支援事業

（問） 購入予定の資機材について伺う。
（答） 災害時に孤立する可能性がある集落を対象に、ソーラーパネル付きバッテリー、テン付き簡易トイレ等を購入するものである。

（問） 次年度以降は、交通遮断や情報通信手段に関するも、地域住民と協議のうえ、対応することを望む。
(全会一致で可決すべきものと決定)

陳情第5号

政府に「再審法改正」の意見書提出を求める陳情書

（動議） 国において議論が進められ、法律の専門家の間でも意見が分かれている内容で、全ての証拠の開示、検察官の不服申し立ての禁止及び再審手続きの整備など、様々な側面から専門的な調査研究を行わなければ、責任を負う専門的な調査研究を行わなければ、責任を負う側への対策も急務である。

（意見） 今後も高齢者が増える中、福祉や介護職の担い手不足が背景にあることから、支援する側への対策も急務である。
(全会一致で可決すべきものと決定)



教育福祉常任委員会



高橋健治委員長

審査案件（議案第2号、議案第4号、議案第7号、議案第12号、議案第14号から議案第16号）
議案第4号

地域支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の改正

（内容） 法改正により、地域包括支援センターにおける柔軟な職員配置が可能とされたことから、条例の一部を改正するもの。

（意見） 今後も高齢者が増える中、福祉や介護職の担い手不足が背景にあることから、支援する側への対策も急務である。

（意見） 今後も高齢者が増える中、福祉や介護職の担い手不足が背景にあることから、支援する側への対策も急務である。
(全会一致で可決すべきものと決定)

教育福祉常任委員会

大和田・坂田小学校統合施設整備

議案第7号

電気設備工事請負変更契約の締結

(内容) 建設資材等の高騰が生じたことから、3千195万9千400円を増額し、変更契約を締結するもの。

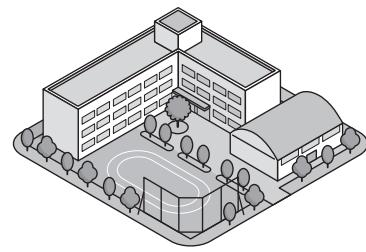
問 変更契約に係る増額分の補助金の取扱いについて伺う。

答 令和7年度の補助金について、増額分を反映して申請することが可能である。

問 工事の進ちょくについて伺う。

答 電気設備工事における進ちょく率は、予定を0・5%上回る15・5%である。

(全会一致で可決すべきものと決定)



建設経済常任委員会



鈴木高大委員長

審査案件（議案第5号、議案第8号から12号、請願第1号）

請願第1号

君津インターインターチェンジ周辺 まちづくり事業の実現を 求める請願

執行部から 総合計画に掲げる「君津インター チェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり」として、早期実現に向け取り組んでおり、令和6年は、企業ニーズの獲得、地元との合意形成、規制の突破、事業採算性の検討の4つの視点から臨んでおり、市議会や関係団体の協力のもと一丸となって取り組んでいきたい。

(内容) 開設予定の児童発達支援センター及び市有地の進入路を整備するもので、道路名称は貞元、休場線、延長322メートルを新たに市道として認定しようとするもの。

問 付近にある農道を利用せず、新たに市道を整備する理由について伺う。

答 当該農道はほ場整備により整備された農道であり、利用形態が異なることから、新たに市道を整備するものである。

(全会一致で可決すべきものと決定)

孤立集落対策緊急支援 —道路事業

議案第12号（補正予算）

問 工事箇所を選定した経緯及び今後の事業の

答 方針について伺う。

当該箇所は以前から地元自治会より要望があつた場所であり、補助対象区域であることから、今後、マニュアル等を作成し、再発防止に努める。(全会一致で可決すべきものと決定)



君津インターインターチェンジ周辺

ら申請したものであること。また、今後は地元の要望や土砂災害の状況、緊急度等を総合的に判断して実施していく。
(全会一致で可決すべきものと決定)

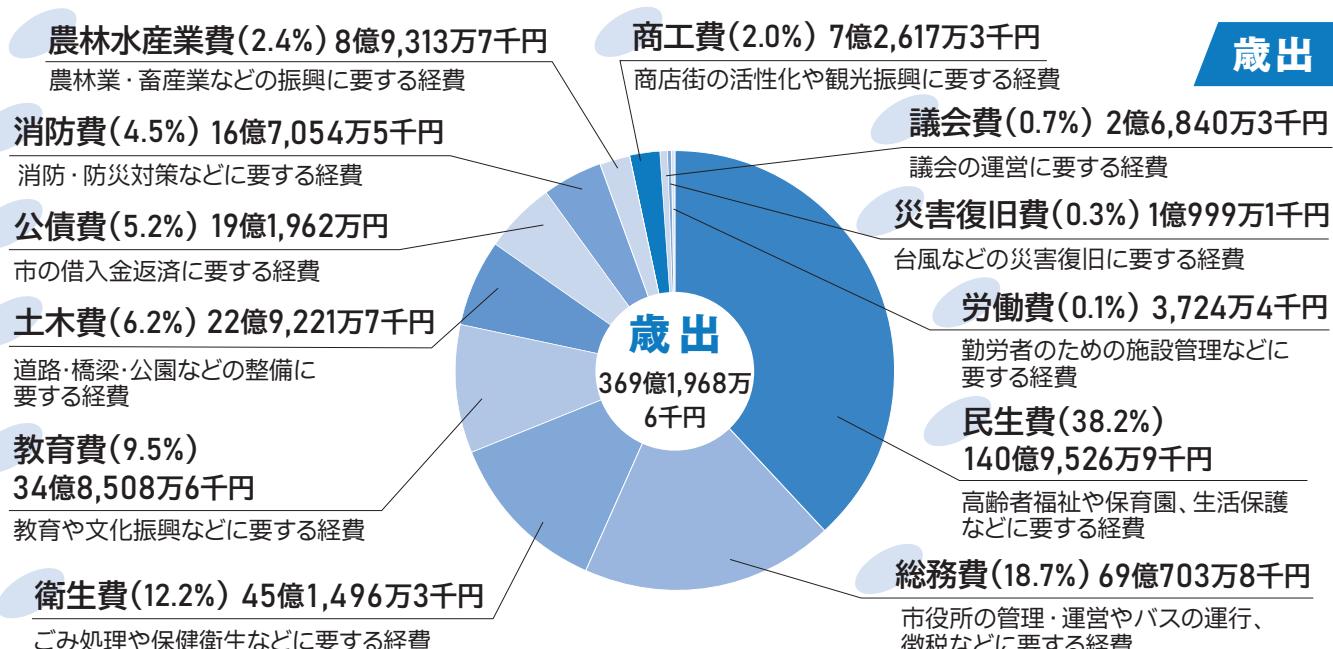
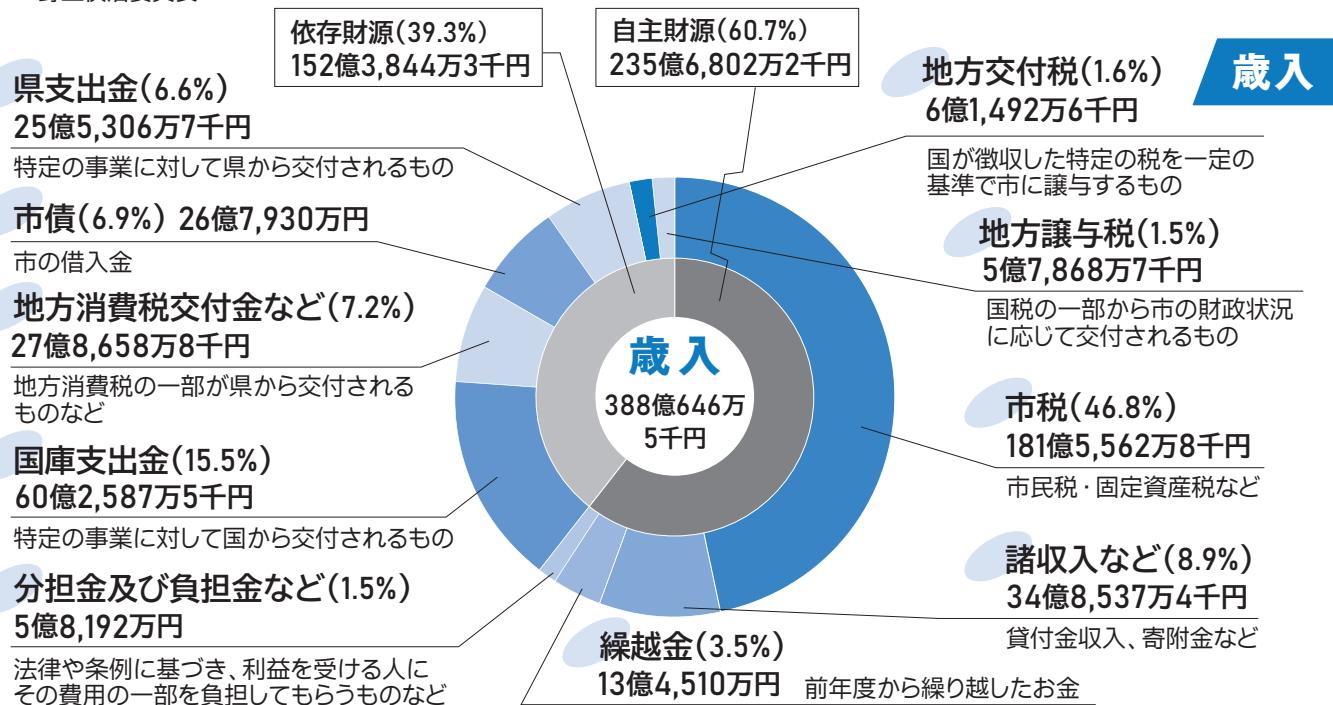
効果を検証し、 次年度予算へ反映



野上慎治委員長

9月10日の第3回定例会において、委員11名からなる決算審査特別委員会が設置され9月18日、19日、20日の3日間にわたり、令和5年度君津市一般会計歳入歳出決算をはじめとする各特別会計歳入歳出決算の認定議案5件の審査を行いました。

慎重審査の結果、認定第1号、認定第2号、認定第4号、認定第5号は賛成多数で、認定第3号については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



一般会計

問 基金の一括運用の成果について伺う。

答 平成30年度に基金の一括運用を開始し、運用益の累計額は1千669万円となり、特に令和4年度から財投機関債での運用を開始した効果等により、令和5年度の運用益は前年度比250万円増の541万円となつたことなど、一括運用の成果が表れていると考える。

問 捕獲した有害獣の食肉への利用率について伺う。

答 鹿は47%、猪は28%が食肉として利用されている。



組に対する加点により、県内第9位となつてゐる。

認定第4号 介護保険特別会計

問 要介護等認定に係る審査件数が増加した理由について伺う。

答 口ロナ禍における要介護認定の臨時的な取扱いとして、審査を経ず前回の介護度を引き続き、更新することとしていたが、この臨時的な取扱いを原則、終了したことから、増加したものである。

今後の大幅な税収の増加が見込めない中、持続可能な行政運営のための取組が着実に行われたことは評価できるものであること。

また、認定第2号ないし第5号の各特別会計についても適切な運用がなされたものと理解する。

委員会の意見を集約し、執行部へ申し添えを行いました

君津市議会基本条例の規定に基づき議員間討議を行い、9月27日の本会議の委員長報告において、以下の事項について、委員会全会一致の意見として、市へ申し添えを行いました。

申し添え事項

①周西南中学校で発生した学校納入金着服について、在籍する生徒の保護者に対する損害賠償として、845万5千848円を支出したが、本件は、引き続き、関係者に求償を続けていかなければならぬ状況であることから、今後の決算書等においては、明確な説明の記載を求める。

②一部の公共施設の工事について、工期が延長し、供用開始が遅れたことによつて、利用者に負担をかける事態があつたことから、事業の執行にあたつては、細心の注意を払い、遅延なく、特に市民に直接の影響が出ないよう十分に留意していただきたい。

認定第2号 国民健康保険特別会計

認定第2号

問 市営聖地公園の墓地の使用許可件数と傾向について伺う。

答 令和5年度の許可件数は43基であり、壁墓地や合葬墓地など、管理が容易なもののニーズが高まつてゐる傾向にある。



聖地公園

問 高速バス通学支援事業の事業効果について伺う。

答 利用者アンケートによると、回答者の8割程度が引き続き市内に在住しており、補助金があつたことで市内から通学することができたという回答も半数程度あつたことから、一定の事業効果が得られていると考える。



問 備蓄品の保管場所と在庫管理の状況について伺う。

答 各避難所にある防災倉庫と君津中央公園及び久留里市民スポーツ広場等に設置されている大型の防災倉庫に備蓄しており、管理については、職員が定期的に巡回し在庫管理をしている。



防災備蓄倉庫

問 備蓄品の保管場所と在庫管理の状況について伺う。

答 各避難所にある防災倉庫と君津中央公園及び久留里市民スポーツ広場等に設置されている大型の防災倉庫に備蓄しており、管理については、職員が定期的に巡回し在庫管理をしている。

反対討論

認定第1号（一般会計）は、きみさらず聖苑や水道事業にかかる負担金など、広域事業全般について、

認定第2号（国民健康保険特別会計）は、資格証明書や短期被保険者証の発行等について、

認定第4号（介護保険特別会計）は、制度見直しのたびにサービス内容が低下していることについて、

認定第5号（後期高齢者医療特別会計）は、制度そのものについて、それぞれ同意できない。

賛成討論

市有財産の売却による空き公共施設等の整理をはじめ、公共施設の更新や老朽化対策、公園・道路照明のLED化や電気自動車の導入による脱炭素の推進など、成果が見られたものが多く、傾向にある。

行政視察で本市を訪問

令和6年4月から設置が努力義務となった「こども家庭センター」を令和5年度に前倒しで設置し、こども家庭相談室とすこやか親子サポート「つみき」の機能を統合することで、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの包括的な支援を強化したことや、市民グループを中心に大道沢公園を「ホタルの舞う公園」にすることを目指す「大道沢公園ホタルプロジェクト」などの調査に訪れました。

10月3日 埼玉県深谷市（子育て世代包括支援センター運営事業）

4日 三重県東員町（大道沢公園ホタルプロジェクト）

9日 島根県浜田市（ブルーカーボンの取組）

奈良県生駒市（小中学校における水泳指導とプール施設のあり方）

21日 宮城県気仙沼市（文化ホールの運営状況）



パリ2024パラリンピック ボッチャ団体戦パブリックビューイング

8月28日から始まったパリ2024パラリンピック競技大会に、君津市在住の廣瀬隆喜選手がボッチャ競技日本代表選手として出場されました。9月5日に生涯学習交流センターでメダルをかけた3位決定戦のパブリックビューイングが開催され、小倉議長も出席しました。見事、銅メダルを獲得された際には大いに盛り上りました。

また、廣瀬隆喜選手には3大会連続のメダル獲得により、多くの市民に感動と希望を与えるとともに、君津市の名を高め、広めた功績から、10月19日、健康と福祉のふれあいまつりの会場において、君津市民栄誉賞特別賞が贈呈されました。



議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

☆スマートフォン・タブレットからもご視聴いただけます。
通信費は利用者の負担になります。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。

配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック
②左側に「本会議ライブ中継」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。



令和6年第4回定例会 11月29日(金) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／高橋 明 ●副委員長／下田 剣吾
- 委員／高橋 健治 鈴木 高大 奈良輪 政五

- 発行／令和6年11月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>